

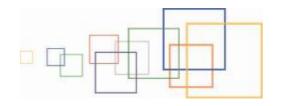
eZ Publish Website Interface

ユーザー ガイド日本語版

バージョン 1.2

1

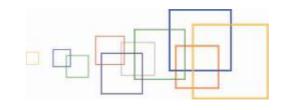




目次

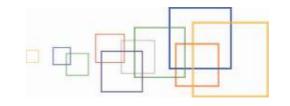
1. はじめに	
1.1. eZ Publish と eZ Publish Now について	4
1.2. 対象者	5
1.3. 表記規則	5
1.4. その他のリソース	5
1.5. eZ に関する連絡先情報	6
1.6. 著作権と商標	6
2. インターフェイスの概要	6
2.1. Website Interface	6
2.2. 管理者インターフェース	6
3. ユーザーアカウントの管理	7
3.1. ユーザー アカウントの作成	······ 7
3.1.1. 管理者インターフェースへのログイン	
3.1.2. 新規のユーザー アカウントの作成	······ 7
3.1.3. ユーザーグループ、ロール、およびポリシー	
3.2. ユーザー アカウントの削除	9
3.2.1. ユーザー アカウントの無効化	-
3.2.2. ユーザーアカウントの消去	-
4. ユーザー プロファイルの管理	10
4.1. Website Interface へのログイン	10
4.2. プロファイルの編集	
4.2.1. 言語設定の編集	12
4.2.2. 個人の詳細情報の編集	13
4.3. 下書きの管理	-
4.4. Web ショップの注文の管理	
4.3. 電子メール通知の管理	
4.6. ウィッシュリストの管理	-
5. コンテンツの管理	14
5.1. コンテンツについて	14
5.2. コンテンツの追加、編集、および削除	
5.3. Online Editor	16
5.4 コンテント・クラス	
5.4.1 コンテント / 記事	
5.4.2 コンテント / 記事(メインページ)	
5.4.3 コンテント / 記事(サブページ)	19
5.4.4 コンテント / バナー	_
5.4.5 コンテント / ブログ	-
5.4.6 コンテント / ブログポスト	21
5.4.5. コンテント / コメント	
5.4.8. コンテント / 文書ページ	
5.4.9. コンテント / イベント	
5.4.10 コンテント / イベントカレンダー	
5.4.11. コンテント / 問い合わせフォーム	·-
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	





	5.4.12. コンナント / フォルタ	. 25
	5.4.13. コンテント / フォーラム	
	5.4.14. コンテント / フォーラム(返信)	•
	5.4.15. コンテント / フォーラムトピック	
	5.4.16. コンテント / 最上位フォーラム・オブジェクト	. 27
	5.4.17. コンテント / フロント・ページ	. 28
	5.4.18. コンテント / ギャラリー	. 30
	5.4.19. コンテント / 情報ボックス	31
	5.4.20. コンテント / リンク	. 32
	5.4.21. コンテント / マルチカレンダー	. 33
	5.4.22. コンテント / ポール	. 33
	5.4.23. コンテント / プロダクト	. 34
	5.4.24. 設定 / 共通の ini セッティング	. 35
	5.4.25. メディア / ファイル	. 35
	5.4.26. メディア / 画像	. 36
	5.4.27. メディア / Flash、Quicktime、Real video、および Windows media	. 36
	5.4.28. ユーザー/ユーザー	. 37
	5.4.29. ユーザー / グループ	- 37
	5.5. 下書きの保存	- 37
	5.6. 既存のコンテンツの編集	. 38
	5.6.1. 編集の競合	. 38
	5.7. コンテンツの並べ替え	. 38
	5.8. コンテンツの移動	41
	5.9. コンテンツの削除	. 42
	5.9.1. ゴミ箱からのコンテンツの取り出し	. 42
	5.10. 一つのコンテントを複数のロケーションに表示する	- 43
6.	高度なタスク	.44
	6.1. コンテンツバージョンの管理	.44
	6.1.1. 前のバージョンのコンテンツ・オブジェクトに戻す	.44
	6.2. コンテンツの翻訳の管理	.44
	6.2.1. コンテンツの翻訳	.44
	6.3. WebDAV を使用したコンテンツのドラッグ & ドロップ	. 45
	6.4. OpenOffice.org のサポート	. 45
	6.4.1. OpenOffice.org ドキュメントのインポート	. 45
	6.4.2. OpenOffice.org ドキュメントのエクスポート	. 47
	6.5 サイトセッティング	. 48





1. はじめに

eZ Publish Website Interface は、eZ Publish の拡張機能であり、この機能を使用することで Web サイトのコンテンツを簡単に作成し、保守することができます。Website Interface は、Web サイトのフロントエンドに統合されているので、コンテンツ管理がわかりやすく、簡単に学習できるようになります。ほとんどの Web サイトに関する管理タスクは Website Interface を使用して実行できます。

Website Interface を使用している eZ Publish サイトは、eZ Publish を通常にインストールした場合と、次の点が異なります。

- eZ Publish Now を利用のお客様には、設計およびカスタマイズ機能に制限があります。たとえば、eZ Publish Now サイトでは、サイトの変更は「サイトスタイルパッケージ」に含まれる CSS ファイルを使用して行います。そのため、サイトの設計と保守が容易になります。通常の方法を使用してこれらのサイトを変更し、カスタマイズすることもできますが、eZ Publish Now のお客様はデフォルトの構成を使用しなければならないため、「サイトスタイルパッケージ」を使用したカスタマイズだけが可能となります。
- サイトのインストール時に指定した各言語 (および 管理者インターフェース) について「サイトアクセス」が 作成されます。

Website Interface は、eZ Publish Setup Wizard によりインストールされる「サイト パッケージ」として実装されます。単純なサイトのカスタマイズは、管理者インターフェースを介してインポートされるサイトスタイルパッケージを使用して行います。

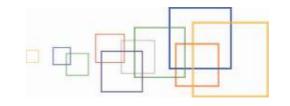
1.1. eZ Publish と eZ Publish Now について

eZ Publish は、幅広い機能を備えたエンタープライズ・コンテンツ管理システムであり、同一サイトでの複数の作成者、複数のコンテンツ・タイプ (テキスト、画像、マルチメディア ファイル)、コンテンツのバージョン管理、多言語サイトなどをサポートする高度な機能が含まれます。エンタープライズ・コンテンツ管理システムフレームワークとして、eZ Publish は多様なカスタマイズが可能であり、大規模な組織の複雑なニーズを満たすことができます。

eZ Publish Now は、製品 (eZ Publish および Website Interface) とサービス (サポート、自動更新、カスタマイズ支援など) を組み合わせたソリューションです。Website Interface は、直ちに使用できるように設計されており、複雑な設定やカスタマイズは不要です。

eZ Publish Now の目的は、eZ Publish が持つパワフルかつ豊富な機能を提供するとともに、複雑なプログラムを行わず簡単にカスタマイズ可能とすることです。eZ Publish Now は、専門的なコンテンツ管理ソリューションをニーズがあるにも係わらず、複雑なシステムを作成し、それを管理するためのインフラストラクチャ、予算、専門要員知識が不足しがちな小規模から中規模の企業に適しています。加えて、標準的な Web サイト、イントラネット、またはエクストラネットを構築するためのソリューションを必要とする大規模な組織にも適しています。何れの場合でも、高い専門知識を有する eZ パートナー各社 と eZ Systems 社が、プロジェクトのライフサイクルを応じてサイト運用を安全かつ円滑に導くための幅広いサービスを提供します。





1.2. 対象者

eZ Publish Now には次の 3 つのマニュアルがあります。

- ユーザーガイド 日本語版
- インストールガイド 日本語版
- カスタマイズガイド 日本語版

本書 (『ユーザー ガイド 日本語版』) は、Website Interface を利用してのコンテント管理など、日常のタスクを行なうためのガイドです。本書は、コンテント編集者を対象としています。管理者インターフェースを利用しての、より複雑なタスクを行なうには、「eZ Publish User Manual」を参考にして下さい。http://ez.no/doc

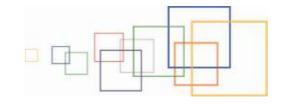
1.3. 表記規則

- コード例、関数、変数名などは「等幅フォント」で表します。
- ファイル名とパスは「*等幅斜体字 フォント*」で表します。
- コマンドは「等幅ボールド フォント」で表します。
- グラフィック ユーザー インターフェイスの要素 (ボタンやフィールドのラベルなど) は「太字 **フォント**」で表します。
- コンポーネント名 (アプリケーションやコンテント・クラスの名前など) は、「Administration Interface」や「フォルダ コンテント・クラス」のように先頭を大文字で表します。
- URL の例では、「www.example.com」をご自分のサイトのドメイン名に置き換えてください。
- 本書のスクリーンショットは、ページに合うように、または重要な点を説明するように変更されていることがあります。従って、ご自分のサイトでの表示とは厳密に一致しないことがあります。
- Web サイトの設計はそれぞれのニーズに合わせてカスタマイズできるので、さまざまなリンクの場所の説明が、ご自分のサイトの場所とは一致しないことがあります。そのような場合には、デフォルトのサイト設計での項目の場所を参照していることを明記してあります。

1.4. その他のリソース

- Website Interface または eZ Publish Now については、次のリソースを参照してください。
- eZ Publish ドキュメント: Website Interface は eZ Publish の拡張機能です。共通の機能については、これらのマニュアルでは繰り返し説明していません。ただし、本書では、http://www.ez.no/doc にあるオンライン版の eZ Publish ドキュメントへのリンクを必要に応じて記載しています。
- eZ Publish フォーラム: eZ Systems の Web サイトのフォーラムは、eZ Publish ユーザーが互いに支援 やサポートを提供するコミュニティ主導の貴重なリソースです。このフォーラムは、 http://ez.no/community/forum で無料でご利用いただけます。
- eZ Partners によるサポート: eZ のグローバルなパートナー ネットワークは、すべての eZ 製品に関する 専門的なサポートを提供しています。パートナーをお探しの場合は、sales@ez.no までお問い合わせくださ
- その他の eZ ソリューション: eZ Systems のその他のソリューションについては、http://ez.no/products/solutions を参照してください。
- トレーニングと認定: eZ Systems と eZ Partners は、eZ Publish Now 向けのトレーニングコースと認定 試験を提供しています。詳細については、sales@ez.no までお問い合わせいただくか、または http://ez.no/services/training を参照してください。





1.5. eZ に関する連絡先情報

eZ Systems、eZ Publish、または Website Interface についての技術的な質問は、次までお寄せください。

- http://ez.no/company/contact
- info@ez.no

本書に関する提案やご意見をお待ちしております。 doc@ez.no までお寄せください。

1.6. 著作権と商標

Copyright © 2006 eZ Systems AS. 本書のコピー、配布、変更は、Free Software Foundation による GNU Free Documentation License, Version 1.2 以降の条件の下で許可されます。本書には GFDL で規定されている「変更不可部分」、表紙テキスト、および裏表紙テキストはありません。このライセンスのコピーは「GNU Free Documentation License」で取得できます。

本書に記載された他の製品名と企業名は、対応する各社の商標である可能性があります。本書では、商標所有者の利益のために商標名を編集して使用しています。従って、これらの名前には商標記号が付いていません。商標として認識されているすべての用語は、最初の文字を大文字で表します。この使用の厳密性についての保証はありません。また、本書における用語の使用は、商標またはサービスマークの有効性に影響を与えないものとします。

2. インターフェイスの概要

Website Interface を実行している eZ Publish サイトでは、サイトのコンテンツを操作する方法として、 Website Interface と 管理者インターフェース の 2 つがあります。

2.1. Website Interface

eZ Publish Website Interface サイトでのほとんどの作業は Website Interface を使用して行います。このインターフェイスの要素は、編集者または管理者権限を持つグループに所属するユーザーだけに表示されます。したがって、登録済みの場合でも、サイトの訪問者は、Website Interface にはアクセスできません。 Web サイト・インターフェースへのログイン方法については、「ユーザープロファイルの管理」の章を参照してください。次の項で説明するように、インストール時に作成した管理者アカウントを使用するのではなく、最初に新

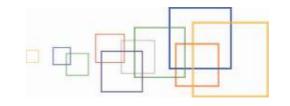
規のユーザーアカウントを作成する必要があります。Website Interface のコンテンツ管理機能へのアクセスと

使用については、「コンテンツの管理」の章で説明します。

2.2. 管理者インターフェース

ユーザー管理やサイト設計などの複雑な管理タスクは 管理者インターフェースを使用して行います。管理者インターフェースを使用する必要があるのは、通常はサイト管理者や Web マスターなどの上級ユーザーだけです。Website Interface を使用して実行できるすべての編集タスクは、管理者インターフェースでも実行できます。管理者インターフェースへのアクセスと使用の方法については、「ユーザーアカウント」の項を参照してください。





3. ユーザーアカウントの管理

この項では、ユーザーアカウントを作成し、管理する方法について説明します。Website Interface にアクセスするには、ユーザーにアカウントが必要です。ユーザーアカウントは管理者インターフェースで作成します。各ユーザーアカウントには、そのユーザーに関する詳細な個人情報が含まれるユーザープロファイルが関連付けられています。各ユーザーは、そのアカウントに関連付けられたプロファイルの詳細を Website Interface を使用して管理できます (「My プロファイル」リンクをクリック)。

ほとんどの場合は、サイト管理者が、コンテンツを追加および編集する権限を持つ各ユーザーのアカウントを作成します(フォーラムに対する投稿やページへのコメントの追加などのコンテンツ作成権限が制限されている「ゲスト」ユーザーは、自分自身でアカウントを作成できます)。したがって、この章はサイト管理の担当者だけに適用されます。

3.1. ユーザー アカウントの作成

Web サイトに対するコンテンツの追加を開始する前に、「編集者」の権限を持つユーザーアカウントを作成する必要があります。

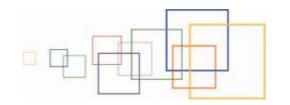
3.1.1. 管理者インターフェースへのログイン

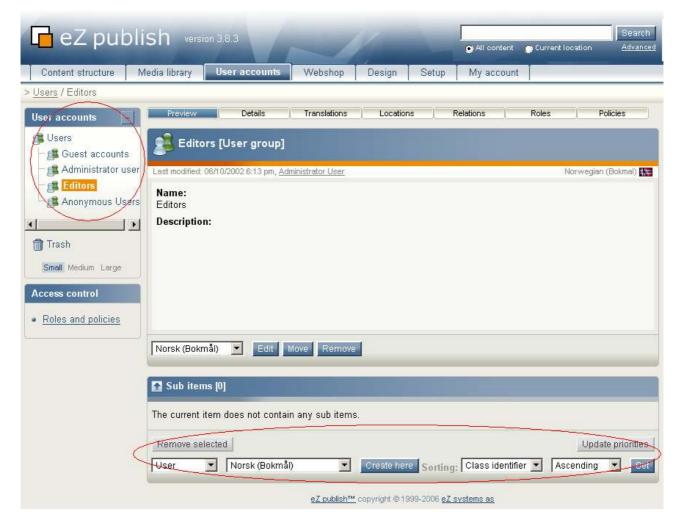
ユーザーアカウントの作成には管理者インターフェースを使用します。管理者インターフェースにアクセスするには、URL http://example.com/ezwebin_site_admin を使用します。ここで、「example.com」はご自分のサイトのドメイン名です。デフォルトのユーザー名「admin」と、インストール プロセスで「admin」アカウントについて指定したパスワードを使用してログインします。管理者インターフェースへはフロントエンドからもアクセスが可能です。「ログイン」(ディフォルトではページの右上に表示される)を選択し、管理者としてのユーザーネームとパスワードを記入した後、「eZ Publish の管理者インターフェースにログインする」をチェックし、ログインしてください。

3.1.2. 新規のユーザー アカウントの作成

管理者インターフェースで、水平メニューバーの「ユーザーアカウント」ボタンをクリックし、左側のナビゲーションパネルの「編集者」リンクをクリックします。







編集者グループに新規のアカウントを作成するには:

- 1. **サブアイテム**パネルで、ドロップダウン・リスト・ボックスからユーザーを選択します。
- 2. 「ここに作成」ボタンをクリックします。
- 3. ユーザーに関する情報を入力します。
- 4. 「送信して公開」ボタンをクリックします。

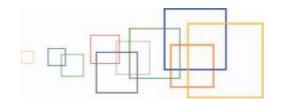
新しいユーザー アカウントは 編集者 グループのメンバーであり、そのグループに関連付けられた権限を自動的に取得します。ユーザーは、この情報の一部 (名前、パスワード、電子メール アドレスなど) を Website Interface を使用して変更できます。

3.1.3. ユーザーグループ、ロール、およびポリシー

左側のナビゲーション メニューの項目**編集者** はユーザー グループを表します。各ユーザーグループには、そのグループに割り当てられているユーザーの権限を決定するユーザーポリシーのセットが関連付けられています。新しいユーザーアカウントを作成すると、作成されたアカウントのグループに関連付けられたすべてのユーザー権限が自動的に継承されます。

グループに割り当てられたポリシーを表示または編集するには、画面の左側にある **アクセスコントロール**パネルの「ロールとポリシー」をクリックします。構成されたすべてのロールが管理者インターフェースのメインエリ





アに表示されます。ロールとは1つまたは複数のポリシーのコンテナです。ロールは、グループまたは個々のユーザーアカウントに割り当てることができます。

ユーザー、グループ、ロール、ポリシーのこの組み合わせは「アクセス制御」と呼ばれます。これらは 管理者インターフェースを使用して大規模にカスタマイズできます。詳細については、次のオンライン eZ Publish マニュアルを参照してください。

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_8/concepts_and_basics/access_control 事前に構成されているユーザー グループは次のとおりです。

ユーザー グループ	説明
管理者ユーザー	スーパーユーザー。スーパーユーザーは、Web サイトのすべての 領域のすべての機能にアクセスできます。サイトの管理アカウントは 日常的なタスクに使用してはなりません。このアカウントは、高度な 機能 (本書の関連する項で説明) にアクセスする必要がある場合に のみ使用してください。
編集者	コンテンツ編集者。これらのユーザーは、コンテンツの追加、変更、 消去ができます。
パートナー (特別なユーザー)	通常のユーザーよりアクセス権の高いユーザーです。通常のユーザーには隠されているコンテンツの閲覧などが可能になります。
メンバー (ユーザー)	独自にアカウントを作成したユーザは、自動的にこのグループへ登録されます。フォーラムにてトピックを作成したり、投稿が可能です。また、e-mail アドレスや写真などの「My プロファイル」を編集することができます。
匿名ユーザー	ログインしていない訪問者。サイトのすべてのコンテンツのうち、登 録ユーザー限定でないものを読むことができます。

3.2. ユーザー アカウントの削除

ほとんどの場合は、ユーザー アカウントを消去するよりも無効にする方法をお勧めします。ユーザー アカウントを無効にすると、そのユーザーはログインできなくなりますが、そのユーザーが作成したコンテンツとのそのユーザーとの関連付けは削除されません。

ユーザー アカウントを消去すると、そのユーザーが投稿したコンテンツから「投稿者」属性が削除されます。コンテンツ自体は消去されませんが、その投稿者を確認することはできなくなります。コンテンツを追加していないユーザーを消去しても、まったく変化はありません。

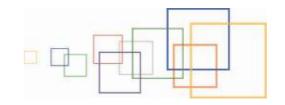
3.2.1. ユーザー アカウントの無効化

ユーザー アカウントを無効にするには:

- 1. 管理者インターフェースにログインします。
- 2. 水平のメニューバーの「ユーザーアカウント」ボタンをクリックします。
- 3. 無効にするユーザーアカウントをクリックします。
- 4. 「ユーザーアカウント設定の構成」をクリックします。
- 5. 「ユーザー情報有効化」チェックボックスをオフにし、「OK」ボタンをクリックします。

アカウントが無効になったので、そのユーザーはログインできません。そのアカウントを再び有効にするには、





「ユーザー情報有効化」チェックボックスをオンにし、変更内容を保存するだけです。



3.2.2. ユーザーアカウントの消去

ユーザーアカウントを消去するには:

- 1. (前述の説明に従って) 消去するユーザーアカウントにアクセスします。
- 2. 「削除」ボタンをクリックします。
- 3.「OK」ボタンをクリックして消去を確認します。

これでユーザー アカウントが消去されました。

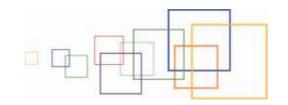
4. ユーザー プロファイルの管理

ユーザー アカウントに関連付けられた個人の詳細情報とアカウントの基本設定は「ユーザープロファイル」と呼ばれます。ユーザープロファイルを表示または変更するには、Website Interface を使用します。別のユーザーのユーザー プロファイルを表示または変更するには、(前述の説明に従って)管理者インターフェース を使用します。

4.1. Website Interface へのログイン

Website Interface にログインするには、デフォルトですべてのページの右上隅に表示される「ログイン」リンクをクリックします。







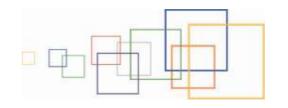
ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

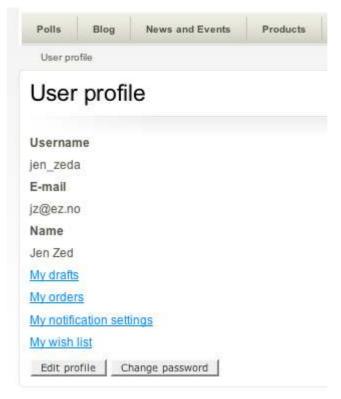
4.2. プロファイルの編集

Website Interface を使用して、ユーザー プロファイルの個人情報の一部を変更することができます。ログインの後、デフォルトでページの右上隅に表示される「My プロファイル」リンクをクリックします。この結果示されるページでは、現在の設定が示されるとともに、基本設定を構成できるページへのリンクが表示されます (基本設定の構成については次に説明します)。

個人情報を変更するには、「プロファイルを編集」ボタンをクリックします。







4.2.1. 言語設定の編集

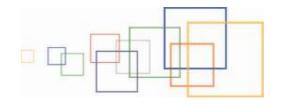
ウエブサイトがマルチリンガル設定の場合、「プロファイルを編集」ボタンをクリックすると、ユーザー アカウントに関連する言語を構成できるページが表示されます。eZ Publish は、複数の言語をサポートするように構成できます (手順については、『eZ Publish インストール ガイド』を参照してください)。各「オブジェクト」のテキストコンポーネント (ユーザー アカウント、記事、フォーラムへの投稿、画像) は複数の言語で用意できます。サイト訪問者が (デフォルトでページの左上隅に表示される言語リストから) 言語を選択すると、それ以降は、オブジェクトのテキストコンポーネントが選択した言語で表示されます (その言語での翻訳がある場合)。たとえば、フランス語と英語の両方の記事がある場合に、言語として「英語」を指定したユーザーには英語版が、「フランス語」を指定したユーザーにはフランス語版が表示されます。ユーザーが言語として「ドイツ語」を選択したときに、その記事についてドイツ語版がない場合は、そのサイトのデフォルトの言語で記事が表示されます

この記事の例と同様に、ユーザーの個人情報も複数の言語で公開できます (これはユーザーの署名とその画像の代替テキストだけに影響を与え、姓や名などのその他の特性には影響を与えません)。これの使用方法を示す例として、ユーザーがフランス語で投稿されたフォーラムに応答するときに、フランス語サイトのインターフェイスを有効にすることがあります。この場合は、署名をフランス語に翻訳したものが投稿に付加されます。同じユーザーがフォーラムの投稿に応答しているときに英語サイトを有効にすると、署名を英語に翻訳したものが使用されます。

言語設定には次の構成オプションがあります。

- **オブジェクト編集に使用する言語の選択**:複数の言語がこのユーザーアカウントについて有効になっている場合は、すべての言語がここに表示されます。編集する言語の横にあるラジオボタンをクリックします。
- オブジェクトに追加する言語の選: ユーザーアカウントに言語を追加するには、このリストから選択します。 このリストには、eZ Publish のインストールで有効にされたすべての言語が表示されます。





■ **追加する翻訳のベースとなる言語の選択**: 翻訳元の言語を選択すると、既存のテキストの翻訳に基づいて 編集するのではなく、すべての属性が空である編集ページに現在のコンテンツが表示されます。つまり、翻 訳できない属性を除くすべての情報を最初から入力する必要があります。

終了したら、「編集」ボタンをクリックします。

4.2.2. 個人の詳細情報の編集

希望の翻訳を選択すると (サイトで複数の言語が構成されている場合)、個人情報が含まれるページが表示されます。次の項目を編集できます。

- 名
- 姓
- パスワード
- 電子メール アドレス
- 署名 (フォーラムで使用)
- 画像 (フォーラムで使用)
- 代替画像テキスト (アクセシビリティの標準要件、必須フィールドではない)

終了したら、保存する場合は「送信して公開」を、サイトのメインページに戻る場合は「破棄」をクリックします。

4.3. 下書きの管理

「下書き」とは、eZ Publish に入力済みの公開されていないコンテンツのことです。下書きには、新規のコンテンツと既存のコンテンツに対する変更があります。サイト訪問者は下書きコンテンツを見ることはできませんが、その下書きを作成したユーザーは、下書きにアクセスし、編集し、公開することができます。

下書きを保存したすべてのページを表示するには:

- 1. 前述の説明に従ってユーザー プロファイルにアクセスします。
- 2. リンク「下書き」をクリックします。

下書きの名前 (または、下書き項目の右側にある「編集」ボタン) をクリックして、編集を再開します。標準の編集インターフェイスが表示されます。変更が終了したら、そのオブジェクトを公開することも、再び下書きとして保存し、後で編集することもできます。

下書きを消去するには、「ドラフトを空にする」ボタンをクリックします。下書きの作成については、「下書きの保存」を参照してください。

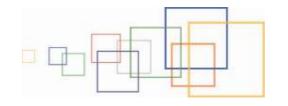
4.4. Web ショップの注文の管理

Web サイトが Web ショップを通じて製品を販売するように構成されている場合は、プロファイルページを通じて自分の注文履歴と現在の注文状況にアクセスできます。

注文を表示するには:

- 1. 前述の説明に従ってユーザープロファイルにアクセスします。
- 2.「注文設定」をクリックします。





4.3. 電子メール通知の管理

電子メール通知サービスでは、Web サイトの特定の部分が変更されるたびに電子メールを送信します。このサービスは一般にフォーラムで使用されており、ユーザーは、トピックに応答が追加さるたびに、その通知を電子メールで受け取ることができます。

通知設定ページを使用して、この機能の3つの特性、すなわち通知頻度、通知の送信方法 (個別の送信または1つにまとめた送信)、以前に通知を要求したページからの通知設定の削除の有無を変更します。

通知設定にアクセスするには:

- 1. 前述の説明に従ってユーザープロファイルにアクセスします。
- 2. リンク「通知設定」をクリックします。
- 3. 変更が終了したら、ページ下部の Store ボタンをクリックします。

次の設定を変更できます。

- すべての通知をダイジェスト形式で受け取る: このオプションを有効にすると、すべての通知が 1 つの電子メールにまとめられます。複数のページの通知を指定すると、通知期間内に複数のページが変更された場合でも、受け取る電子メールは 1 つだけになります。
- **時間設定**: 通知の頻度を指定します。通知電子メールの送信回数を指定するには、**時間**フィールドを使用します。通知電子メールの頻度を指定するには、**毎日、毎週、毎月**のフィールドを使用します。
- **ノード通知**: 以前に通知を要求したページの通知設定を削除するには、そのページの横にあるチェックボックスをオンにし、「削除」ボタンをクリックします。

4.6. ウィッシュリストの管理

ウェブショップを持つウェブサイトの場合、訪問者は商品をウィッシュリストへ追加することが出来ます。ウィッシュリストボタンは商品ページに表示されます。

ウィッシュリストを編集またはアイテムを削除するには:

- 1. 前述の説明に従ってユーザープロファイルにアクセスします。
- 2. ウイッシュリストをクリックします。
- 3. アイテムを選択するには、右側にあるボックスにチェックを入れます。
- 4. アイテムの数量を変更するには、新しい数を入力し、「保存」をクリックします。
- アイテムを削除するには、チェックボックスで選択した後、「アイテムを削除」をクリックします。

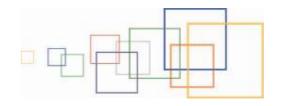
5. コンテンツの管理

この章では、Website Interface を使用してコンテンツを追加、編集、削除する方法について説明します。コンテンツを管理するには、編集権限を持つユーザー (デフォルトでは、編集者 または 管理者グループのメンバー) としてログインしていなければなりません。

5.1. コンテンツについて

eZ Publish は、画像、記事、マルメディア ファイル、フォーラム、フィードバック フォームなどの各種のコンテン ツをサポートしています。特定のタイプのコンテンツは コンテント・クラスと呼ばれ、コンテンツの特定の部分は コンテンツ オブジェクトと呼ばれます。





コンテント・クラスは、そのオブジェクトの属性を表す特定のタイプのコンテンツのテンプレートと考えることができます。たとえば、記事 コンテント・クラスには、タイトル、作成者の名前、導入部分のテキスト、記事のテキストなどが含まれます。必須ではない属性もありますが、すべてが 記事 コンテント・クラスの一部です。したがって、このクラスに基づくすべてのコンテンツ オブジェクトは、このコンテント・クラスで定義された属性のデータを持つことができます。

コンテンツ オブジェクトは、個別のオブジェクトでも、コンテンツ階層のその下にあるコンテンツを入れるコンテナでもかまいません。たとえば、通常は、1 つまたは複数の 記事 コンテンツ オブジェクトを フォルダ オブジェクトの下に格納できます。フォルダ オブジェクトを表示すると、その下に格納された記事の要約リストが自動的に表示されます (これは、フォルダ コンテント・クラスの内部テンプレートの一部です)。

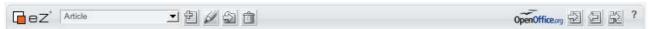
各コンテント・クラスには、コンテンツ オブジェクトの属性を表示するための別のテンプレートがあります。したがって、1 つのコンテンツ オブジェクトがコンテンツ階層の別のコンテンツ オブジェクトの下に格納されていることだけでは、上のコンテンツ オブジェクトを表示したときに下のコンテンツ オブジェクトが表示されるという意味にはなりません。たとえば、「記事 B」が「記事 A」の下にある場合に「記事 A」を表示しても、「記事 B」は表示されません。これは、階層の下にある項目の表示は、記事 コンテント・クラスのテンプレートで指定されていないからです。

各コンテント・クラスのテンプレートにより定義されている表示特性に加えて、一部のコンテンツ オブジェクトは、サイトのいずれかの場所に置かれている他のオブジェクトを表示できます。たとえば、次に説明する Online Editor のリンク ツールを使用して、他のオブジェクトにオブジェクトを「埋め込む」ことができます (記事に画像を埋め込むなど)。ソース オブジェクト (この例では記事) と埋め込まれたオブジェクト (この例では画像) の両方のコンテント・クラスによって、オブジェクトの埋め込みを許可するかどうかが決まります (たとえば、画像にフォルダを埋め込むことはできません。これは画像コンテント・クラスでは許可されていません)。

コンテンツ階層は、新規のコンテンツを作成するときの重要な概念です。追加する新規のコンテンツの表示が 階層の上位にあるコンテンツ オブジェクトに依存する場合は、新規のコンテンツをそのコンテンツ・コンテナの 下に追加します。たとえば、フォルダ コンテンツ・オブジェクトで記事のリストを自動的に表示する場合は、これ らの記事を フォルダ コンテンツ・オブジェクトの下に配置する必要があります。フォルダ コンテンツ・オブジェ クトのテキストに記事に対するリンクを手作業で追加することもできますが、追加すると、その記事を消去したと きにリンクが切れます。

5.2. コンテンツの追加、編集、および削除

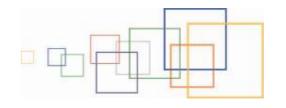
編集者または管理者権限を持つユーザーとしてログインすると、Website ツールバー (次に表示) がサイトの各ページに表示されます。



ツールバーに表示されるボタンは、ユーザーが編集者または管理者グループのどちらに所属しているかによって変わってきます。編集者グループの場合、そのページに適当なボタンのみが表示されます。また、編集者グループに与えられている権利によって、表示されるボタンが限られてきます。管理者グループユーには全てのボタンが表示されます。

ボタンに加えて、コンテント・クラスを表示するドロップダウンリストが表示されます。このリストも、ユーザーグループによって内容が限定されます。管理者グループユーザーがログインしている場合、利用可能なコンテント・クラスかどうかに関わらず、全てのコンテント・クラスが表示されます。(例えば:管理者グループユーザーがログインしている場合、**ブログポスト**はブログコンテイナー内のみに作成可能であるにも関わらず、





他のページでもリストされます。)編集者グループユーザーがログインしている場合は、そのページで使用可能なコンテント・クラスのみが表示されます。(例えば:**ブログポスト**はブログページのみにリストされます。)

記事コンテント・クラスのオブジェクトの場合、Open Office.org のインポート/エクスポートボタンが表示されます。詳細は、「OpenOffice.org サポート」の項を参照して下さい。

- **コンテンツを追加するには**: 新規のコンテンツを追加するページを参照し、追加するコンテンツのタイプをドロップダウン リストから選択して、**ここに作成**ボタンをクリックします (詳細については、次の個別のコンテント・クラスの説明を参照してください)。
- **コンテンツを編集するには**:変更するページを参照し、「**編集」**ボタンをクリックします (詳細については、 次の個別のコンテント・クラスの説明を参照してください)。
- **コンテンツを移動するには**: 移動するページを参照し、「移動」ボタンをクリックします (詳細については、「コンテンツの移動」の項を参照してください)。
- **コンテンツを消去するには**: 削除するページを参照し、「削除」ボタンをクリックします (詳細については、「コンテンツの削除」の項を参照してください)。
- **複数のページに同じコンテントを表示するには**:表示したいページへと移動し、「配置を追加」をクリックします。(詳細は「複数のページに同じコンテントを表示する」をの項を参照して下さい。)

5.3. Online Editor

Online Editor は、ウエブベースの編集ツールです。見出しの作成、表の挿入、リストの作成、リンクの作成が簡単に出来ます。テキストにコンテント・オブジェクトの挿入も出来ます。リッチテキストでの記入が可能な属性は全て Online Editor のインタフェース内に表示されます。



インターフェースは OpenOffice.org や Microsoft Word のようなテキスト編集アプリケーションと類似した機能を持っています。Online Editor の完全マニュアルはこちらを参照下さい。 http://ez.no/doc/extensions/online editor/4 x.

5.4 コンテント・クラス

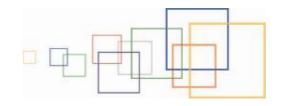
このセクションでは、eZ Publish で使用されているコンテント・クラスを紹介します。前述(「コンテンツの追加、編集、および削除」)されているように、ドロップダウンリストに表示されるコンテント・クラスは、表示中のページ及び、ユーザーグループによって変わってきます。

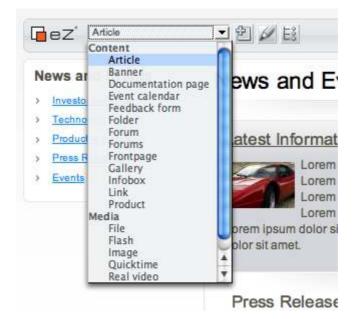
5.4.1 コンテント / 記事

記事はもっとも頻繁に使用されるコンテンツ タイプです。テキストに加えて、記事にはサイトの他の領域に格納された画像や作成者情報などを表示できます。1 ページの記事は記事コンテント・クラスを使用して作成できます(この項で説明)。複数のページにわたる記事は、記事(メインページ)と記事(サブページ)コンテント・クラスで作成できます(次項で説明)。

記事を作成するには、Website ツールバーのドロップダウンメニューから 記事を選択し、「作成」ボタンをクリックします。







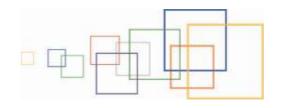
属性

- タイトル: 記事のタイトルは記事のページの上部に表示されます。記事がリストに含まれる場合は、リンクされたテキストとして表示されます。
- 短縮タイトル: 管理者インターフェースのナビゲーションツリー構造で使用されます。また、(設定されている場合は) 公開サイトでも、ブラウザ ウィンドウのタイトルやナビゲーション履歴 (ブレッドクラム) などに表示されます。したがって、このタイトルは短くする必要があります。
- 投稿者: これらのフィールドに入力すると、名前と電子メール アドレスが記事のタイトルの下に (雑誌の筆者名のように) 表示されます。名前 フィールドには作成者の役職などの追加情報を入れることもできます (「John Doe, Product manager」など)。



■ サマリ: これは記事の導入部分です。デフォルトの設計では、このテキストは、ページ上部に個別の段落としてボールド体で表示されます。

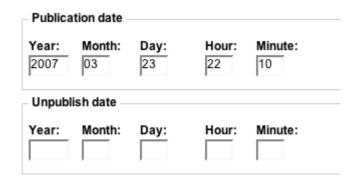




Summary (required):

Normal		-	В	I	1000	三	建	鑩	9	(90)	Ů	<>	A	擅	1	100		9	
We are p	roud to ar	noun	ice																

- 本文: 記事の本文。
- 公開日時/公開停止日時: このフィールドでは、記事の公開・公開停止の日時を設定できます。例えば、サーバー上の時刻より 12 時間後の時間を入力すると、この記事は 12 時間後までサイト訪問者には公開されないことになります。同様に、公開停止の日時を設定すると、その時間がくると記事が自動的に削除されます。(ゴミ箱へのアクセスについては、「コンテントの削除」の項を参考にしてください。)



- 画像: ローカル ドライブから記事に画像を追加するには、「新規画像ファイルのアップロード」ボタンをクリックし、ローカル ファイルシステムから画像を選択します。この画像は記事の上部に表示されます。サイトに 既にアップロードされた画像を埋め込むには、または記事の別の領域に画像を配置するには、Online Editor の リンク 機能 (後の「フロント・ページ」の項で説明) を使用します。画像の代替テキストのフィールドは、画像概要に利用できます(画像が表示されないブラウザ用)。キャプションに入力されたテキストは、画像の下に表示されます。
- タグ: このタグフィールドを利用して、コンテンツに対して、自由にキーワードを追加出来ます。検索の際にこれらのタグはメタ情報として使用されます。例えば、ある記事に"millennium"タグを追加すると、"millennium"で検索があった際に、記事自体に"millennium"という記載があるかに関わらず、検索結果に表示されます。サイト全体にタグクラウドを表示する場合、下記の URL をロードしてください。

http://www.example.com/<language>/content/view/tagcloud/2

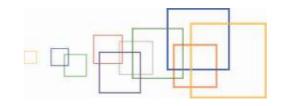
または、こちらで特定のタグを持つコンテントをご覧頂けます。 http://www.example.com/<language>/content/keyword/<tag>

■ コメントを許可: このチェックボックスがオンになっている場合は、サイト訪問者は記事にコメントを追加できます。

5.4.2 コンテント / 記事(メインページ)

5.4.1 に説明されている記事とここに説明される記事(メインページ)の違いは、記事では 1 ページのみの記事しか作成できませんが、記事(メインページ)と記事(サブページ)を使用すると、複数ページに渡る記事の作成が可能です。(記事(メインページ)は複数の記事(サブページ)オブジェクトのコンテナとなります。)複数ページに





渡る記事の各ページは自動でリンクされ、読者は前のページや次のページにクリックーつで移動できます。またサブページのリストが全てのページのサイドコラムに表示されます。

記事(メインページ)コンテント・クラスは、記事クラスに以下のフィールドを追加したものです。

■ インデックスタイトル: 複数ページに渡る記事を作成した場合、目次(サブページのリスト)が全てのページの右サイドコラムに表示されます。インデックスタイトルを記入すると、目次に表示されるタイトルとして使用されます。このフィールドが空白の場合は、**短縮タイトル**が代用され、**短縮タイトル**も空白の場合は、**タイトル**が使用されます。

5.4.3 コンテント / 記事(サブページ)

記事(サブページ) は、記事(メインページ)にページを追加していく時に利用されるコンテント・クラスです。記事(メインページ)と記事(サブページ)の関連詳細は、5.4.3 の項を参照されて下さい。記事(サブページ)の属性は、コンテント・クラス・記事の属性と同様になりますが、記事に比べて属性が幾つか少なくなります。

5.4.4 コンテント / バナー

バナーは、フロントページの「ビルボード」オブジェクトとして使用されるグラフィック・ファイルです。バナーは管理者インターフェースに限り作成できます。Website Interface を利用し、バナーを作成することも出来ますが、この場合、メディアライブラリに保存されないため、作成された後に、手動で移動する必要があります。そのため、管理者インターフェースを利用しての作成を推奨します。



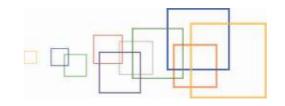
システムに新規の**バナー**を追加するには、本書の前述の手順に従って管理者インターフェースにアクセスし、 水平のメニューバーの「メディアライブラリ」ボタンをクリックします。左側のメニューから**バナー**リンクを選択し、 表示されるページから新規の**バナー**を選択します。

eZ Publish Website Interface には幅広いデモ・バナーが付属しています。これを使用することも、独自のバナーを提供することもできます。メディアを制御しやすくするために、すべてのバナーをメディアライブラリに保存することをお勧めします。

属性

- 名前: バナーの名前またはタイトル。
- URL: バナーをリンクとして利用したい際には、クリックしたリンク先の URL を記入。
- 画像:





- 新規ファイルをアップロード: 使用するファイルをアップロードします。
- 代替画像テキスト: 画像を説明するテキストを入力します (Web のアクセシビリティ標準に準拠するため)。
- 画像マップ: 画像マップは、画像の幾何学的な領域に関連する命令のセットで、ほとんどの場合は、画像を ナビゲーション メニューとして実装するために使用します。画像のさまざまな領域は他のコンテンツ (eZ Publish サイトやその他の場所) にリンクされます。これは、画像全体を URL にリンクしながら、画像のさ まざまな領域を別の宛先にリンクすることと似ています (詳細については、

http://www.w3.org/TR/html401/struct/objects.html#h/136 を参考にして下さい)。

■ タグ: タグフィールドを利用して、コンテンツに対して、自由にキーワードを追加出来ます。検索の際にこれらのタグはメタ情報として使用されます。例えば、ある記事に"millennium"タグを追加すると、"millennium"で検索があった際に、記事自体に"millennium"という記載があるかに関わらず、検索結果に表示されます。サイト全体にタグクラウドを表示する場合、下記の URL をロードしてください。

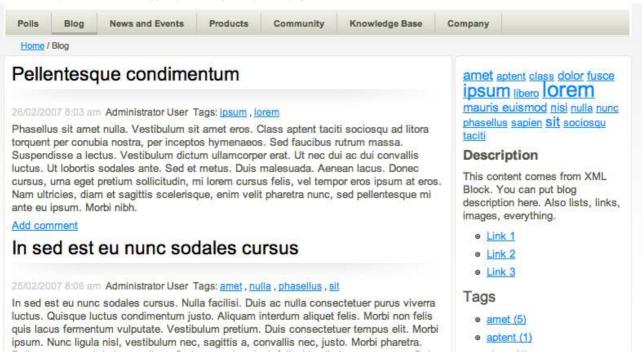
http://www.example.com/<language>/content/view/tagcloud/2

または、こちらで特定のタグを持つコンテントをご覧頂けます。 http://www.example.com/<language>/content/keyword/<tag>

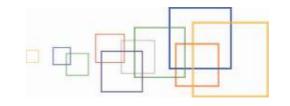
5.4.5 コンテント / ブログ

ブログコンテント・クラスは、ブログを作成するのに使用します。ブログは、特定の人物によって作成された、または、特定のトピックに対して作成された、比較的短い記事の集まりです。各ブログポストは、**ブログポスト**コンテント・クラスを利用して作成出来ます。

ブログページのサイドコラムには、**ブログ**コンテント・クラス特有のエレメントが表示されます。トップには、「タグ・クラウド」が表示されます。タグ・クラウドは、各ブログポストに付随されたタグを集め、タグ数によって、キーワードをサイズ別に表示したものです。タグ・クラウドの下には、**ブログ**コンテントの概要が表示されます。概要の下には、アルファベット順に、タグが表示されます。







属性

- 名前: ブログの名前 ■ 概要: ブログの概要
- タグ: タグフィールドを利用して、コンテンツに対して、自由にキーワードを追加出来ます。検索の際にこれらのタグはメタ情報として使用されます。例えば、ある記事に"millennium"タグを追加すると、"millennium"で検索があった際に、記事自体に"millennium"という記載があるかに関わらず、検索結果に表示されます。サイト全体にタグクラウドを表示する場合、下記の URL をロードしてください。

http://www.example.com/<language>/content/view/tagcloud/2

または、こちらで特定のタグを持つコンテントをご覧頂けます。 http://www.example.com/<language>/content/keyword/<tag>

5.4.6 コンテント / ブログポスト

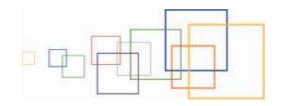
ブログコンテント・クラスの下に、ブログポストコンテント・クラスを使用し、ブログポストを作成します。



属性

- タイトル: ブログポストのタイトル。
- 本文: ブログポストの本文。
- 公開日時/公開停止日時: このフィールドでは、記事の公開・公開停止の日時を設定できます。例えば、サーバー上の時刻より 12 時間後の時間を入力すると、この記事は 12 時間後までサイト訪問者には公開されないことになります。同様に、公開停止の日時を設定すると、その時間がくると記事が自動的に削除されます。(ゴミ箱へのアクセスについては、「コンテントの削除」の項を参考にしてください。)





'ear: 2007	Month: 03	Day: 23	Hour: 22	Minute:
Unpub	lish date —			
Year:	Month:	Day:	Hour:	Minute:

■ タグ: タグフィールドを利用して、コンテンツに対して、自由にキーワードを追加出来ます。検索の際にこれらのタグはメタ情報として使用されます。例えば、ある記事に"millennium"タグを追加すると、"millennium"で検索があった際に、記事自体に"millennium"という記載があるかに関わらず、検索結果に表示されます。サイト全体にタグクラウドを表示する場合、下記の URL をロードしてください。

http://www.example.com/<language>/content/view/tagcloud/2

または、こちらで特定のタグを持つコンテントをご覧頂けます。 http://www.example.com/<language>/content/keyword/<tag>

■ コメントを許可: このチェックボックスがオンになっている場合は、サイト訪問者は記事にコメントを追加できます。

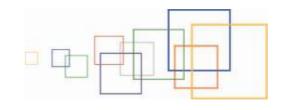
5.4.5. コンテント / コメント

オブジェクトについてコメントが有効になっている場合は (コンテンツ オブジェクトを追加するときに「コメントを許可」ボックスをオンにする)、訪問者はページの下部に追加されるコメントを投稿できます。すべてのコンテント・クラスでコメントが許可されているわけではありません。フォルダ、記事、ブログ コンテント・クラスは含まれません。コメントは、Website Interface を通じてコメントコンテンツオブジェクトを追加することで作成できますが、通常は、「標準の」ページインターフェイス (通常のサイト訪問者に対して表示されるインターフェイスと同一)を使用して追加します。

5.4.8. コンテント / 文書ページ

文書ページは、知識ベースや FAQ ページなどの参照情報を表示するために使用します。これは、オンラインマニュアルやその他の参照ドキュメントを作成する場合に便利です。フォルダコンテント・クラスに類似していますが、ここに含まれるのはフォルダクラスの属性のサブセットだけです。これらの2つのコンテント・クラスの主な違いはその表示方法です。





Knowledge Base FAO

Daily Usage Questions

Editing a document

Sending e-mail

Use Cases

Technology Introduction

Nullam scelerisque

Knowledge Base

Table of Contents

- FAC
- Technology Introduction

FAQ

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Nam laoreet neque nec ligula. Phasellus eget quam. Vestibulum lacus libero, condimentum ut, consequat sed, gravida ut, arcu. Pellentesque convallis felis vel lacus. Maecenas at odio. Nulla facilisi. Donec tristique, purus non auctor portitor, sapien nisi dignissim leo, eget imperdiet mauris ipsum sed odio...



Technology Introduction

Etiam nisl. Nulla lorem dui, vulputate sed, hendrerit vel, gravida eget, sem. Proin semper nisl sit amet quam. Proin a enim. Praesent varius nisi sed sem. Cum sociis natoque penatibus et magnis dis parturient montes, nascetur ridiculus mus. Pellentesque habitant morbi tristique senectus et netus et malesuada fames ac turpis egestas. Morbi at ante. Quisque eget justo.

Created: 03/08/2006 8:19 am

Modified: 03/10/2006 9:29 pm

直前のスクリーンショットは、ドキュメントページがどのように表示されるかを示しています。ユーザーがコンテンツを簡単にナビゲートできるよう、左側には特殊なメニューが配置されています。

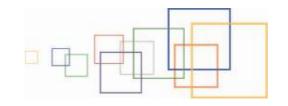
屋性

- タイトル:ページのタイトル。
- 本文: 記事の本文。
- タグ: タグフィールドを利用して、コンテンツに対して、自由にキーワードを追加出来ます。検索の際にこれらのタグはメタ情報として使用されます。例えば、ある記事に"millennium"タグを追加すると、"millennium"で検索があった際に、記事自体に"millennium"という記載があるかに関わらず、検索結果に表示されます。サイト全体にタグクラウドを表示する場合、下記の URL をロードしてください。

http://www.example.com/<language>/content/view/tagcloud/2

または、こちらで特定のタグを持つコンテントをご覧頂けます。 http://www.example.com/<language>/content/keyword/<tag>





サブアイテムを表示: コンテンツ階層でコンテナがその下にあるコンテンツを表示するようにしたい場合は、このボックスをオンにします。

5.4.9. コンテント / イベント

イベントは、イベントカレンダーコンテンツ・オブジェクトに含まれるコンテント・クラスです。

属性

- タイトル: イベントを詳細に説明するタイトル。表示されません。
- 短縮タイトル: イベントのタイトル。イベントのヘッダーとして使用されます。
- 概要: イベントの要約または説明。
- カテゴリ: この属性はイベントの「タギング」に使用します (「Web 2.0」のカテゴリ分けの手法。詳細については http://en.wikipedia.org/wiki/Tag_%28metadata%29 を参照してください)。これは、イベントに関連付けられたキーワードを追加できるテキスト・フィールドです。
- 開始時刻: イベントの開始時刻。
- 終了時刻: イベントの終了時刻。

5.4.10 コンテント / イベントカレンダー

イベント カレンダー はイベントのコンテナで、ユーザーがイベントを参照できる、クリック可能なカレンダーとして表示されます。

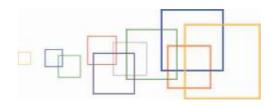
属性

- タイトル: カレンダーを説明するタイトル。短縮タイトル属性が空白の場合は、これがカレンダーのタイトルとして使用されます。
- 短縮タイトル: 管理者インターフェースのナビゲーション・ツリー構造で使用されます。また、(設定されている場合は) 公開サイトでも、ブラウザウィンドウのタイトルやナビゲーション履歴 (ブレッドクラム) などに表示されます。したがって、このタイトルは短くする必要があります。
- 表示方法: 表示方法をカレンダー(含まれるイベントも)の表示か、プログラム(イベントの簡単なリスト)の表示から選択します。

5.4.11. コンテント / 問い合わせフォーム

問い合わせフォームは連絡用フォームとして使用します。





Contact us
This is an example of how you can make a contact form on your eZ publish site. This form will be sent via e-mail to the address specified in the admin interface for this object. Go to the admin and edit this object to change this text the recipient. Name
Your E-mail address
Subject
Message
Send form

属性

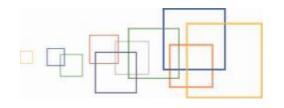
- タイトル: フォームのタイトル。
- 概要: フォームの使用方法の説明。
- 送信者名前: ユーザーはこのフィールドに名前を入力できます。このフィールドにテキストを入力することで、Webページにデフォルトの名前として表示されます。
- 件名: これは、ユーザーがフィードバックの件名を入力する場所です。このフィールドにテキストを入力すると、Web ページにデフォルトの件名として表示されます。
- 本文: フォームの本体。ユーザーはここにフィードバックを入力します。このフィールドにテキストを入力すると、Webページにデフォルトのテキストとして表示されます。
- E-mail: ユーザーはここに e-mail アドレスを入力します。
- 受信者: フィードバックの送信先の e-mail アドレス。

5.4.12. コンテント / フォルダ

フォルダコンテント・クラスは記事コンテント・クラスと類似していますが、画像のアップロードやコメントの追加はできません。これは、記事や画像など、コンテンツ・エンティティの集まりを表示するために使用するコンテナです。

フォルダを作成するには、Website ツールバーのドロップダウン・メニューからフォルダを選択し、作成ボタンをクリックします。





フォルダの子を表示するには、タイトル属性に入力するだけです。短縮タイトル、要約、および概要フィールドはオプションです。これらのフィールドの内容は、フォルダの子のリストの上に表示されます。

Edit F	older -	Nev	v F	olde	r										
Name (req	uired):														
Folder															
Short name	3:														
Summary:															
Normal	▼ ← ⇒	В	I	E E	=	=	9	(32)	+	<>	A	靊	191	3	9)

たとえば、ニュース記事が含まれるフォルダを作成する場合を考えます。このフォルダの名前を「News」と指定し、「サブアイテムを表示」チェックボックスをオンにします。

Show children ☑		
Send for publishing	Store draft Discard	

新しいフォルダの下にニュース記事を追加した後は、そのフォルダは記事のリストが含まれるページとして表示されます。

属性

- タイトル: これはコンテンツ オブジェクトのタイトルで、Web サイトに表示されます。
- 短縮タイトル: これはサイトには表示されませんが、編集者のための詳細な長いタイトルとして使用できます。
- 要約: これはページの導入部分です。デフォルトの設計では、このテキストは、ページ上部に個別の段落としてボールド体で表示されます。
- 概要: このテキストはページの本体です。
- タグ: タグフィールドを利用して、コンテンツに対して、自由にキーワードを追加出来ます。検索の際にこれらのタグはメタ情報として使用されます。例えば、ある記事に"millennium"タグを追加すると、"millennium"で検索があった際に、記事自体に"millennium"という記載があるかに関わらず、検索結果に表示されます。サイト全体にタグクラウドを表示する場合、下記の URL をロードしてください。

http://www.example.com/<language>/content/view/tagcloud/2

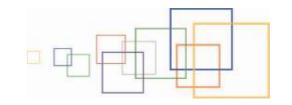
または、こちらで特定のタグを持つコンテントをご覧頂けます。 http://www.example.com/<language>/content/keyword/<tag>

■ サブアイテムを表示: このチェックボックスをオンにすると、このフォルダの下にある項目がフォルダページに表示されます。

5.4.13. コンテント / フォーラム

フォーラムは個別のトピックのコンテナであり、フォーラムとその目的を説明するいくつかの属性だけが含まれ





ます。

属性

- タイトル: これはフォーラムのタイトルとして使用されます(短縮タイトル 属性が空白の場合)。
- 概要: この属性はフォーラムの詳細な説明に使用されます。
- 追加情報: この属性は、追加情報が含まれるパネルをページの右側に追加する場合にのみ使用されます

5.4.14. コンテント / フォーラム(返信)

フォーラム(返信)コンテント・クラスには、サイト訪問者が フォーラムトピックに対して投稿する応答が格納されます。フォーラム(返信)は Website Interface を使用して作成できますが、通常は、「標準の」フォーラム・インターフェイス(通常のサイト訪問者に対して表示されるインターフェイスと同一) を使用して追加します。

5.4.15. コンテント / フォーラムトピック

フォーラムトピックは会話スレッドのコンテナです。フォーラムトピックは会話を「開き」、他の参加者はフォーラム (返信)を通じて討論を行います。フォーラムトピックは Website Interface を使用して作成できますが、通常は、「標準の」フォーラム・インターフェイス (通常のサイト訪問者に対して表示されるインターフェイスと同一)を使用して追加します。

5.4.16. コンテント / 最上位フォーラム・オブジェクト

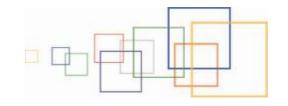
最上位フォーラム・オブジェクトコンテント・クラスは個々のフォーラム・オブジェクトのコンテナです。通常、最上位フォーラム・オブジェクトには、フォーラムをトピック領域としてまとめる複数のフォーラムコンテンツオブジェクトが含まれます。たとえば、次のスクリーショットでは、最上位のフォーラムコンテンツオブジェクトは「最上位フォーラム・オブジェクト」と呼ばれ、ここにフォーラムコンテンツオブジェクトである「Technology」、「General」、および「Setup & design」が含まれます。フォーラムコンテンツオブジェクトは最上位フォーラムコンテンツ・オブジェクトの子です。

Community > Multimedia	Forums			
> <u>Downloads</u>	Forums container. Example content.			
> Pictures	Forum	Topics	Posts	Last reply
> Forums	Technology Tech discussion.	0	0	
> Technology > General	General An example of the general forum.	3	6	Where can I find more information 03/10/2006 11:23 am
> Setup & design	Setup & design Etiam erat urna, tincidunt id.	0	0	

属性

■ タイトル: フォーラムのタイトル。





■ 概要: フォーラムの説明。

5.4.17. コンテント / フロント・ページ

フロント・ページ コンテント・クラスは、サイト全体のコンテンツをまとめて表すために使用する、非常に柔軟性の高いコンテンツ コンテナです。フロントページ上にサイトのコンテンツを追加していくのではなく、オブジェクトを単純に埋め込んで、新しいコンテンツが追加されたときにフロントページが自動的に更新されるようにします。フロント・ページ コンテント・クラスは、ページの幅いっぱいに広がった下部の行と、その上にある 3 つの列の4 つの領域で構成されています。列のサイズは自動的に調整されます。コンテンツが含まれる列だけが表示され、表示されている列は常にページの幅全体を使用します。したがって、コンテンツが左側と中央の列に含まれ、右側の列には何も含まれない場合は、中央の列がそれ自体の領域と右側の列の領域を使用するようにページがレンダリングされます。

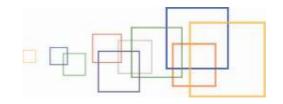
コンテンツは、Online Editor の埋め込みオブジェクト機能を使用してフロントページの領域に埋め込まれます。 コンテンツオブジェクトのすべてのクラスを埋め込むことができます。

埋め込まれたオブジェクトを追加するには、Online Editor ツールバーの「オブジェクト挿入」アイコン(クリップの形) をクリックします。

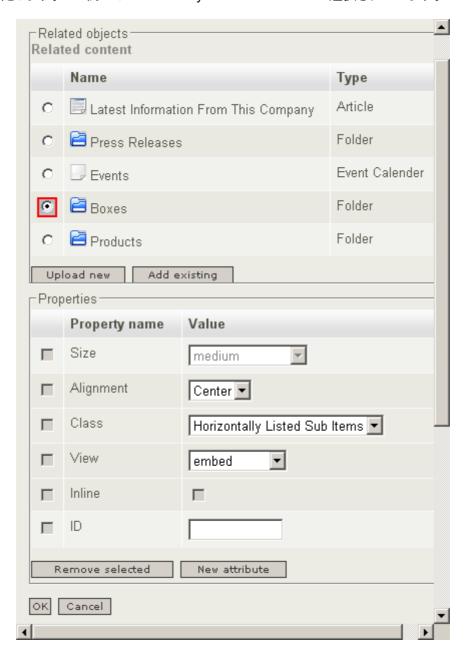


表示されるポップアップウィンドウで、埋め込むコンテンツと、そのレイアウトに使用するクラスを選択します。

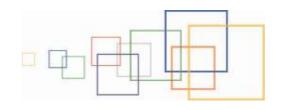




以下のスクリーンショットでは、「Boxes」フォルダが選択されています。プロパティパネルのクラスはレイアウトのスタイルを指定します。この例では Horizontally Listed Sub Items が選択されています。







その結果、Boxes フォルダのコンテンツは次のように表示されます。

Boxes



次のクラスを使用できます。

- Itemized Sub Items
- Itemized Subtree Items
- Vertically Listed Sub Items
- Horizontally Listed Sub Items
- Highlighted Object

Itemized クラスでは、埋め込みコンテナで使用できるコンテンツのリストが作成されます。

Vertically/Horizontally Listed クラスでもコンテンツのリストが表示されますが、画像がある場合は、画像も含まれます。

Highlighted Object クラスでは 1 つのコンテンツ オブジェクトだけが表示されますが、使用するスペースを広く取り、異なる設計を使用することで、そのオブジェクトへの注目を促します (『Customization Manual』で説明するカスタム サイト スタイルを通じて提供されている場合)。

表示方法が Embed に設定されていることが重要です。設定されていないとクラスは適用されません。Online Editor の詳細については、次のオンラインマニュアルを参照してください。

http://ez.no/doc/extensions/online 編集者/4 x

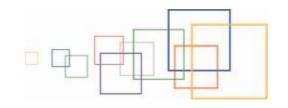
属性

- 名前: フロント・ページ コンテンツ オブジェクトの名前。
- ビルボード: ページの幅全体に表示されるバナー画像。バナーの作成については、前の「バナー」の項を参照してください。
- 左コラム: ここに入力されたテキストとオブジェクトは左側の列に配置されます。
- センターコラム: ここに入力されたテキストとオブジェクトは中央の列に配置されます。
- 右コラム: ここに入力されたテキストとオブジェクトは右側の列に配置されます。
- ボトムコラム: ここに入力されたテキストとオブジェクトは下の列に配置されます。

5.4.18. コンテント / ギャラリー

ギャラリー コンテント・クラスは、ほとんどの場合は画像のコンテナとして使用されます。ギャラリーには、画像のサムネール版によって表される画像のリストと、大きい画像と詳細な説明が含まれるページへのリンクが表示されます。このコンテント・クラスは、ビデオ ファイルのギャラリーとしても使用できます。





Cars

Image gallery with one of the classic cars from the 80s. Lorem ipsum dolor sit amet. Lorem ipsum dolor sit amet.



- Main points
- to summarize
- the images here

View as slideshow









Side view of one of the classics from 80s.

属性

■ 名前: ギャラリーの名前。

■ 要約: ギャラリーの簡単な説明。

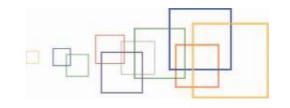
■ 概要: ギャラリーの詳細な説明。

画像: ギャラリーを表す画像。

5.4.19. コンテント / 情報ボックス

情報ボックスコンテント・クラスは、小さいコンテンツ・エンティティを Web ページの右側に表示するために 使用します。





Products

- Morbi lectus ante
- Product category
- Lorem ipsum dolor sit amet
- eZ publish Enterprise CMS

Products

Morbi lectus ante



Morbi lectus ante, porttitor in, semper at, volutpat nec, libero. Fusce sit amet quam fermentum nisl dignissim molestie. Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia Curae; Nunc nec diam ut sapien egestas sagittis. Etiam in nunc. In

pellentesque rutrum sapien, Donec vel nulla. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Nullam consequat lobortis augue. Proin fringilla risus ut augue. Sed leo. Nam vel diam.

Price: £ 199.00

Your price: £ 189.05 You save: £ 9.95 (5 %)

Lorem ipsum dolor sit amet



Lorem ipsum dolor sit amet, consectetuer adipiscing elit. Nam omare nisl eget magna. Vivamus suscipit. Donec interdum, justo sit amet placerat dignissim, nisl dolor pellentesque lectus, pulvinar imperdiet sapien dui eu mi. Donec dictum tincidunt sem. Etiam ut felis.

Nullam lacus. In eros pede, sodales a, adipiscing id, tincidunt vel, diam. Curabitur molestie pretium velit. Vivamus vel dui sed lacus pretium malesuada. Sed nisl metus, consequat vitae, molestie gravida, nonummy sit amet, dui. Donec aliquam cursus ante.

My infobox content more

Some

Yellow flower



dfg dfg dfg see more

属性

- ヘッダー:情報ボックスのタイトル。
- 画像: 情報ボックス に表示する画像をアップロードできます。
- 代替テキスト: 画像の説明 (Web のアクセシビリティ標準に準拠するため)。
- 画像のリンク先 URL: 画像はサイト内や外部の URL にリンクできます。次の構文に注意してください。
 - 外部リンク:「http://www.google.com」(プレフィックス「http://」を必ず入れる)
 - 内部リンク: 「ezinfo/about」(URL「http://www.example.com/eng/ezinfo/about」になる。「example.com」はインストール先の URL、「eng」はデフォルトのサイトアクセス)
- 内容:情報ボックス内部のテキスト。
- URL: 情報ボックス下部に表示されるリンク。
- テキスト: URL リンクのテキスト。

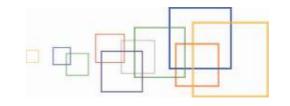
5.4.20. コンテント / リンク

リンクコンテント・クラスは、リンクを作成および表示するために使用されます。**リンク**は、コンテンツ階層においてそのリンクの上位にあるコンテナに表示されます。

属性

- タイトル: リンクのタイトル。
- 概要: リンクの説明。
- ロケーション: この属性には次の2つのフィールドが含まれます。
 - URL: 実際の URL。Web サイト外部へのリンクの場合は、先頭が「http://」でなければなりません。内



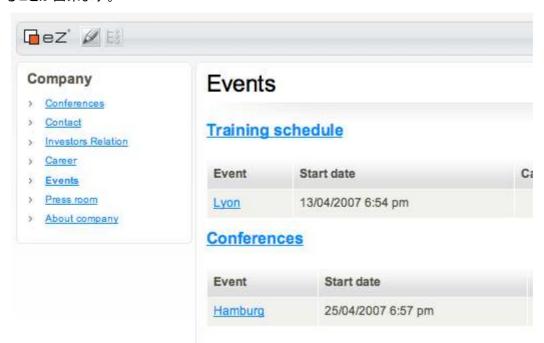


部リンクの場合は、サイトの階層パス(「ezinfo/about」など)を使用します。

- Text: URL の代わりに Web ページに表示されるテキスト。オプションです。

5.4.21. コンテント / マルチカレンダー

マルチカレンダーは、一つもしくは複数のイベントカレンダーオブジェクトを表示するコンテント・オブジェクトです。 例えば、トレーニングスケジュール・カレンダーとカンファレンススケジュール・カレンダーを一つのウェブサイト 上で管理している場合、マルチカレンダーを使用し、両方のカレンダーに登録されているイベントを一つのリストで表示することが出来ます。



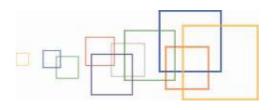
属性

- 名前: マルチカレンダーの名前。
- 概要: マルチカレンダーの概要。名前の下に表示されます。
- カレンダー: 「オブジェクトを追加」をクリックし、希望するカレンダーを選択することで、複数のカレンダーをマルチカレンダーに追加出来ます。

5.4.22. コンテント / ポール

ポールは、簡単なユーザー調査を行なうのに使用します。ポールは、一つの質問に対し、複数の回答を用意し、 ユーザーが既存の回答を選択しくみです。





Reader poll What do you think?: Agree Disagree Don't care Vote Result

属性

名前:ポールの名前。 概要:ポールの概要。

質問:

- 名前: 質問を記入。

- 選択肢: 「オプションを追加」ボタンをクリックし、回答を追加します。回答は右に表示されるテキストフィールドに記入します。回答を削除するには、左に表示されるチェックボックスを選択し、「選択を削除」をクリックします。

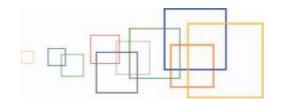
5.4.23. コンテント / プロダクト

サイトが Web ショップとして構成されている場合は、プロダクトコンテント・クラスを使用してショップの新しい項目を作成します。この製品タイプは非常に高度で、製品に顧客が選択可能なオプションを追加して収益を上げることが可能になります。Web ショップの構成は本書の範囲を超えています。詳細については、オンラインドキュメント、http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_8/concepts_and_basics/webshop を参照してください。

属性

- 名前:製品の名前。
- 製品番号: 製品番号またはモデル名。
- 要約:製品の簡単な要約。
- 概要: 製品の詳細な説明。
- 価格: 価格に関連する要素の集まり。
 - 価格:製品の価格。
 - VAT: 価格に VAT が含まれるかどうかを示します。
 - VAT タイプ: VAT の税率。製品によって VAT が異なります。
- 画像:製品の画像。
- 代替テキスト: 画像の説明 (Web のアクセシビリティ標準に準拠するため)。
- キャプション: 画像のキャプション
- 追加オプション: 顧客が製品とともに購入できる追加オプションのドロップダウンリストを作成できます。
 - オプションセットタイトル:オプションセットのタイトル。
 - タイトル: オプションリストのタイトル (複数のリストを設定できます)。





- オプション: オプションのテキストと価格。デフォルトのオプションを指定することもできます。オプション に関連付けられたボタンを使用して、オプションやオプション リストの追加と削除ができます。

「複数オプションを追加」ボタンをクリックしてオプションセットを追加し、「オプションを追加」ボタンをクリックしてオプションセット内にオプションを追加します。

オプションセットを削除するには、削除するオプションの横にあるチェックボックスをオンにして、「削除」をクリックします。オプションセット内のオプションを削除するには、そのオプションの横にあるチェックボックスをオンにして、そのオプションセットに関連付けられた「選択を削除」ボタンをクリックします。

5.4.24. 設定 / 共通の ini セッティング

このオプションは管理者ユーザーグループに属するユーザーにのみ表示されます。ini セッティングは管理者インターフェース限定で変更を加えることを推奨します。

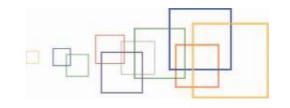
5.4.25. メディア / ファイル

ファイルコンテント・クラスは、ファイルとファイルの説明を入れるために使用されます。

Edit File - New File

lame (Required): Buidelines												
escription:												
		220		713		- 26	100000	- 10		1-1	- 17	-
Normal 🛨 ⇐	-	В	= ! =	準	里	P	(69)	\$	<>		A	
									Cla	ass:[(none]
									Cla	nss:[[none]
Disable editor									Cla	ass: [[none]
									Cla	ass: [[none)
Disable editor File (Required)									Cla	ass:[(none]
Disable editor									Cla	ass:	[none]
Disable editor File (Required) Current file:									Cla	ass: [(none]





属性

- 名前: コンテンツ オブジェクトの名前 (実際のファイルの名前ではない)。
- 概要: ファイルの説明。
- ファイル: 実際のファイル。インターフェイスにはファイルのアップロード用の「アップロード」ボタンと、既存ファイルの消去用の「削除」ボタンがあります。

5.4.26. メディア / 画像

画像コンテント・クラスには、画像ファイルとそのファイルの説明の両方が含まれます。

このように作成された画像は、画像として説明とともにギャラリーに表示することも、他のコンテンツに埋め込むこともできます。たとえば、記事の編集中に Online Editor の「オブジェクトを挿入」ボタンをクリックして、画像を記事に埋め込むことができます。

属性

名前: 画像の名前。

キャプション:画像のキャプション。

画像:画像ファイル。

代替テキスト: 画像を説明するテキスト (Web のアクセシビリティ標準に準拠するため)。

5.4.27. メディア / Flash、Quicktime、Real video、および Windows media

eZ Publish は次のマルチメディア ファイル タイプをサポートしています。

- Real video
- · Windows media
- Flash
- Quicktime

これらのすべてのマルチメディア標準には、ファイルを Web ページに統合する際に使用できる、対応するコンテント・クラスがあります。すべてのメディアコンテント・クラスには、類似した属性と、各ファイルタイプに固有の属性があります。

属性

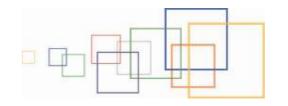
名前: ファイルの名前。 概要: ファイルの説明。 ファイル: ファイル自体。

幅: ビデオを表示するボックスの幅。 高さ: ビデオを表示するボックスの高さ。 コントロール: コントロールを表示する方法。

自動再生: ページをロードしたときにメディアを自動的に再生する場合は、このチェックボックスをオンにします。

これは、Real media コンテンツ オブジェクトのファイル編集インターフェイスのスクリーンショットです。







他のマルチメディアタイプのインターフェイスもこれと同様です。

形式に固有の属性

- コントローラー (Quicktime、Windows media): ユーザーがビデオを開始/停止できるようにする場合は、 このチェックボックスをオンにします。
- 繰り返し再生 (Flash, Quicktime): マルチメディア ファイルを繰り返し再生する (一度再生が終了したときに、もう一度再生する)場合は、このチェックボックスをオンにします。
- クオリティ (Flash): クオリティ識別子のタグをマルチメディア ファイルに付けることができます。
- コントロール (Real media): この設定によってコントロールの表示方法が決まります。

5.4.28. ユーザー/ユーザー

このオプションは、管理者グループに属するユーザーのみに表示されます。Website ツールバーを利用してのユーザーオブジェクトを作成することは可能ですが、この場合、コンテントノードツリーのユーザーアカウントセクションには保存されません。(Website Interface は、ノードツリーのコンテントセクションにのみアクセス出来るためです。)そのため、ユーザーアカウントを有効にするには、作成後に、手動で正しいロケーションへ移動する必要があります。管理者インターフェースをを利用してユーザーを作成すると、このような作業を避けることが出来ます。

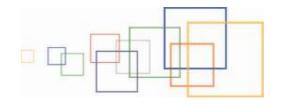
5.4.29. ユーザー / グループ

このオプションは、管理者グループに属するユーザーのみに表示されます。Website ツールバーを利用してのユーザーグループを作成することは可能ですが、この場合、コンテントノードツリーのユーザーアグループセクションには保存されません。(Website Interface は、ノードツリーのコンテントセクションにのみアクセス出来るためです。)そのため、ユーザーグループを有効にするには、作成後に、手動で正しいロケーションへ移動する必要があります。管理者インターフェースを利用してユーザーグループを作成すると、このような作業を避けることが出来ます。

5.5. 下書きの保存

コンテンツ・オブジェクトを操作しているときに、作業内容をサイトに表示することなしに保存することができます。「下書き」を作成すると、現在のバージョンのコンテンツ オブジェクトが公開されずに保存されます。下書きを保存するには、編集ページの「下書きを保存」ボタンをクリックします。





下書きを読み出すには、プロファイルの「下書き」ページにアクセスする方法と、以前に公開したページを編 集する方法の2つがあります。コンテンツ・オブジェクトがそれまでに公開されていない場合は、ページの右上 隅から「My プロファイル」を選択し、「下書き」を選択します。すべての下書きが含まれるページが表示され ます。

以前に公開されたコンテンツ・オブジェクトの下書きを利用するには、単に既存のコンテンツ・オブジェクトを編 集します。「編集」ボタンをクリックした後に、現在のバージョンを編集するか、以前に作成した下書きを編集す るかを選択できます。

5.6. 既存のコンテンツの編集

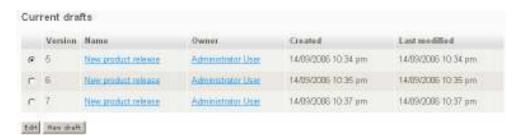
Web サイトに既に公開されているコンテンツを編集するには、希望のページを参照し、Website ツールバーの 「編集」ボタンをクリックします。埋め込みコンテンツの場合は、小さい編集ボタンがコンテンツ・オブジェクトの 近くに表示されます。



■ 編集ボタン

5.6.1. 編集の競合

場合によっては、編集ページに進む前に解決しなければならない編集の競合が発生することがあります。編集 の競合は、複数の編集者が同じコンテンツを同時に変更した場合、又は、同一人物が複数のバージョンを作成 しようとした場合に発生します。システムは、編集しようとしているコンテンツのバージョンが公開されたものであ るのか、下書きの1つであるのかを判断できません。この問題を解決するには、コンテンツのバージョンを選択 してから、「編集」ボタンをクリックします。



編集の競合を避けるため、各編集者は個別のアカウントを持っている必要があります。直前のスクリーンショッ トに示すように、複数のユーザーが同じアカウントを使用している場合は、どのバージョンがどの編集者のもの かを判断ができません。

変更内容を公開すると、編集の競合は解決します。

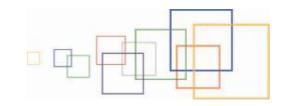
5.7. コンテンツの並べ替え

コンテンツ・コンテナに複数のコンテンツ・オブジェクトが含まれる場合は(フォルダ内の記事など)、コンテンツの 表示を特定の順序で並べ替えることができます。

並べ替えには多くの方法があります。この項では、1 つの方法について説明しますが、他の一般的な並べ替え の基本設定 (手作業、アルファベット順、日付順など) にも適用できます。

最初に管理者インターフェースにログインします。次のスクリーンショットに示すように、水平のメニューバーの 「コンテントストラクチャ」をクリックします。







ページの左側に、サイトのコンテンツが階層ツリー構造で表示されます。

コンテンツを並べ替えるコンテンツ・コンテナを見つけます。スクリーンショットでは、ホームフォルダ (「ルートノード」と呼ばれる) にフォーカスが置かれています。これは、このフォルダがコンテンツ構造の最上部にあるからです。

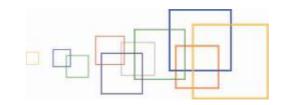
ルートノードの直接の下にあるすべてのコンテンツ・コンテナがグローバルメニューに表示されます。多くの場合、編集者はこの部分を特定の順序で表示されるように並べ替えます。グローバルメニューをコンテンツの並べ替えの例として使用します。

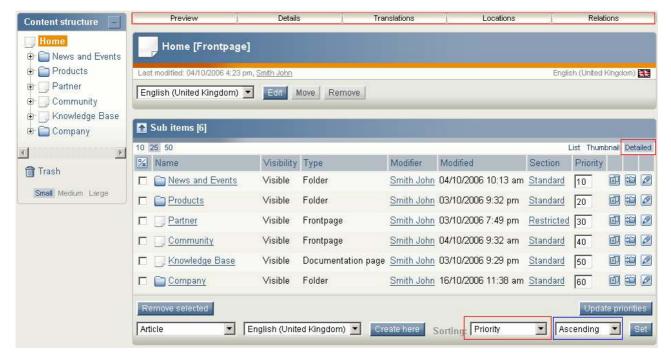
スクリーンショットに示すルートノードの下にある7つのコンテンツ・コンテナがサイトの水平のメニューを構成しています。ここで、これらのコンテナをサイトに表示する順序を変更します。



ルートノードをクリックし、次のスクリーンショットに示すようにコンテンツを表示します。







この表示では、すべてのオプションの詳細 (プレビュー、詳細、翻訳、ロケーション、リレーション) が無効になっています。また、選択したコンテナ「ホーム」のコンテンツの詳細なリストを表示するには、サブアイテムパネル(表の右上隅)の詳細ビューを有効にします。

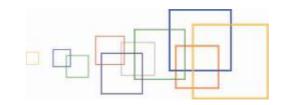
並べ替えのタイプが優先度と昇順に設定されています (直前のスクリーンショットの右下隅)。これにより、手作業による並べ替えができます。

優先順位は、優先列の値によって決まります。もっとも小さい数値を持つコンテンツがグローバルメニューの先 頭に表示されます。



この並べ替えの方法では、各優先度の数値と数値の間に複数の数値が入るように幅を持たせて設定することをお勧めします (この例では 10 の幅を設定しました)。幅を持たせていない場合は、間に別のオブジェクトを追加するときに、他のコンテンツ オブジェクトの優先順位をすべて変更しなければなりません。ここで、水平のメニューの先頭に「プロダクト」フォルダを置きます (左側)。







直前のスクリーンショットからわかるように、「ニュースとイベント」と「プロダクト」の優先順位を変更しました。もちろん、単純に「プロダクト」の優先順位を「ニュースとイベント」よりも小さい値に変更することもできます。この例では、複数の値を一度に変更できることを示しています。

値を変更し、並べかえ順を指定した後に、「優先順位を更新」ボタンをクリックして変更を確認します。 結果は次のとおりです。



5.8. コンテンツの移動

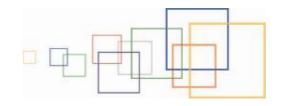
コンテンツをサイト内の1つの場所から別の場所に移動するには、Websiteツールバーの「移動」ボタンを使用します。「移動」をクリックした後に、Webサイトを参照して、コンテンツの新しい場所を選択できます。



「移動」ボタン

次のスクリーンショットは、コンテナを参照したときにサイトのコンテンツの構造が表示される様子を示しています。名前の横のラジオボタンをクリックして新しいコンテナを選択することも、コンテナ名をクリックしてコンテナのコンテンツを表示することもできます。





	Name	Туре
0	News Nex	Folder
0	E Services	Folder
0	Products	Folder
•	images Im	Folder
0	☐ Forum	Folder
0	Events	Event Calender
0	Files	Folder
0	Knowledge Base	Documentation page
0	Contact us	Feedback form

新しい場所を選択したら、「OK」ボタンをクリックします。

コンテンツ・コンテナを移動すると、そのオブジェクトの下のすべてのコンテンツも移動します。たとえば、記事が含まれるフォルダの場所を変更すると、記事も移動します。

5.9. コンテンツの削除

eZ Publish では「ゴミ箱」コンテナを使用しています (Windows や Mac OS X などの一般的なオペレーティングシステムと同様)。コンテンツを削除すると、実際には、そのコンテンツをゴミ箱コンテナに移動していることになります。ゴミ箱コンテナを空にするまでは、いつでもコンテンツを復元することができます。

コンテンツを削除するには、希望のオブジェクトを参照し、Website ツールバーの「削除」ボタンをクリックします。また、埋め込みコンテンツの場合は、コンテンツ・オブジェクトの近くにある「削除」ボタンをクリックします。

■「削除ボタン」

コンテンツのゴミ箱への移動か、完全な消去かの指定を求めるメッセージが表示されます。

- ゴミ箱に移動してコンテンツを削除する (デフォルト)。
- 「ゴミ箱に移動」チェックボックスをオフにして、コンテンツを消去する。

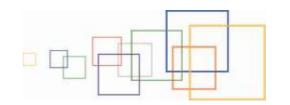
コンテンツの削除と消去は慎重に行ってください。これらの操作はサイトの他のコンテンツにも影響を与えます

- コンテナを削除すると、サブ項目も削除されます。たとえば、記事が含まれるフォルダを削除すると、記事も 削除されます。
- コンテンツに対するリンクがある場合は、コンテンツを削除すると、そのリンクが切れます。

5.9.1. ゴミ箱からのコンテンツの取り出し

削除したコンテンツをゴミ箱コンテナから取り出すには、管理者インターフェースにログインし、左側の「ゴミ箱」 アイコンをクリックします。

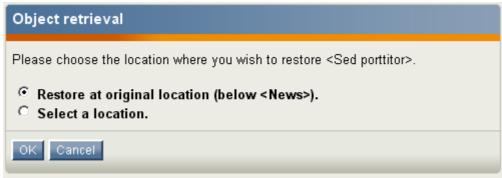






ゴミ箱コンテナの構造は「平ら」です。つまり、元のコンテンツ階層での位置にかかわらず、すべてのオブジェクトが同じレベルに表示されます。

コンテンツ・オブジェクトをゴミ箱から復元するには、右側の列の鉛筆アイコンをクリックします。オブジェクトを元の場所に復元するのか、新しい場所に復元するのかを尋ねるメッセージが表示されます。場所を選択したら、「OK」をクリックします。



削除されたコンテンツ・コンテナにコンテンツを復元しようとすると、新しい場所を選択するよう求められます。

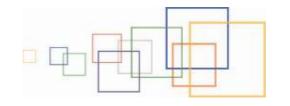
5.10. 一つのコンテントを複数のロケーションに表示する

一つのコンテントをコンテント・ノードツリー内の複数のロケーションに表示することが出来ます。コンテントを表示するページを追加するには、オリジナルとなるコンテントのページで「ロケーション」をクリックします。

<u>ಟ</u>「ロケーション」ボタン

クリックすると、トップレベルのコンテント・ノードツリーが表示されます。コンテナノードをクリックし、目標のロケーションまで移動します。目標のロケーションを見つけたら、ボックスをチェックし、「選択」ボタンをクリックします。





6. 高度なタスク

この章では、コンテンツバージョンの操作、コンテンツの別の言語への翻訳など、高度なタスクについていくつか説明します。

6.1. コンテンツバージョンの管理

eZ Publish では、すべてのコンテンツは「オブジェクト」として格納されます。 つまり、記事もユーザーアカウントもオブジェクトです。

新しいオブジェクトを作成すると、バージョン番号が割り当てられます。このオブジェクトを変更すると、新しいバージョン番号が割り当てられます。オブジェクトの元のバージョンと新しいバージョンの両方がデータベースに格納されます。

このようなバージョン管理システムがあるので、オブジェクトを現在のバージョンから前のバージョンに戻すことができます。たとえば、オブジェクトの新しいバージョンでエラーが発生した場合は、前のバージョンのオブジェクトに戻すことができます。

データベースに格納される各コンテンツ・オブジェクトのバージョンの数には制限があります (データベースが大きくなりすぎることを防ぐため)。この値はシステム構成の一部として設定されます。これについては、eZ Publish の次のドキュメントで説明しています。

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_8/concepts_and_basics/content_management/object_versioning

6.1.1. 前のバージョンのコンテンツ・オブジェクトに戻す

前のバージョンのオブジェクトに戻すには、編集者グループのメンバーであるユーザーとしてログインし、戻すコンテンツにアクセスします(デフォルトでは、編集者および管理者グループのメンバーだけがこの機能にアクセスできます)。

- 1. 「編集」ボタンをクリックします。
- 2. 「バージョン」ボタンをクリックします。
- 3. 希望するオブジェクトのバージョンの横にあるチェックボックスをオンにして、「コピーして編集」ボタンをクリックします。「編集」できるのは下書きだけです。希望するバージョンのステータスが「保管」の場合は、「コピーして編集」する必要があります。
- 4. 「送信して公開」ボタンをクリックします (必要に応じて、オブジェクトを編集してから現在のバージョンを公開することもできます)。

現在のバージョンが新しいバージョンに置き換わります。直前に置き換えられたオブジェクトのバージョンはデータベースに格納されているので、置き換えたときと同じ方法を使用してそのバージョンを復元することができます。

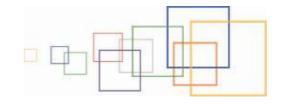
6.2. コンテンツの翻訳の管理

eZ Publish を使用して、複数の言語で表示されるコンテンツを持つ Web サイトを作成できます。サイト訪問者は言語を選択し、希望の言語でコンテンツを表示できます。サポートされているサイトの言語は、サイトのインストール時に設定されます。

6.2.1. コンテンツの翻訳

コンテンツを翻訳するには、翻訳コンテンツを作成する言語を選択します (デフォルトのサイト設計では、言語選択のリンクが各ページの左上隅にあります)。翻訳するコンテンツを参照します。その既存のコンテンツにつ





いての翻訳がない場合は、そのコンテンツはサイトのデフォルトの言語で表示されます。

たとえば、英語で作成した記事がある場合に、フランス人の訪問者がフランス語で読むことができるようにするには、下記の手順に従います。

- 1. フランス語のサイトアクセスにアクセスします。
- 2. 翻訳するコンテンツにアクセスします。
- 3. Website ツールバーの「編集」ボタンをクリックします。
- 4. 記事が英語で表示されます。Website ツールバーのドロップダウンボックスで、翻訳元の言語を選択し (英語のみ)、その横の「翻訳」ボタンをクリックします。
- 5. コンテンツをフランス語で作成し、「公開」ボタンをクリックします。

これで、コンテンツが 2 つの言語、つまり元の言語 (英語) とフランス語の 2 つの言語で表示できるようになります。

6.3. WebDAV を使用したコンテンツのドラッグ&ドロップ

WebDAV は「Web-based Distributed Authoring and Versioning」の略語です。WebDAV を使用すると、複数のユーザーが Web サーバー上のファイルを共同で編集し、管理できます。WebDAV 互換クライアント (Internet Explorer や KDE の Konqueror ブラウザなど) を使用してサーバーに接続すると、ファイルの参照と管理ができます。つまり、このプロトコルによって、Web サーバー上のファイルとディレクトリの参照、作成、削除、アップロード、ダウンロード、名前の変更が可能になります。

WebDAV インターフェイスを使用すると、eZ Publish のインストール先にファイルをドラッグ & ドロップできます。たとえば、いくつかの画像を eZ Publish サイトに追加する場合は、WebDAV クライアントを通じてローカル ファイル システムから eZ Publish のインストール先にファイルをドラッグ & ドロップする方が、Website Interface を使用して画像を個別に追加する方法よりも簡単です。

WebDAV インターフェイスの使用方法については、

http://ez.no/doc/ez_publish/technical_manual/3_8/features/webdav の eZ Publish WebDAV のドキュメントを参照してください。

6.4. OpenOffice.org のサポート

eZ Publish は OASIS Open Documen Format (ODF) に基づくテキストドキュメントをインポートおよびエクスポートできます (http://www.oasis-open.org/committees/tc_home.php?wg_abbrev=office)。これは OpenOffice.org Writer ドキュメントにより使用されている形式です。

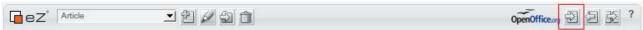
6.4.1. OpenOffice.org ドキュメントのインポート

OpenOffice.org ドキュメントのインポートについては、次の 2 つの基本的な注意事項があります。

- インポートされたすべてのドキュメントは記事コンテンツタイプとして格納されます。
- ドキュメントは、コンテンツコンテナ (フォルダなど) だけにインポートできます。

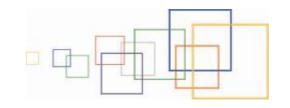
OpenOffice.org Writer ドキュメントをインポートするには:

- 1. 編集者または管理者としてログインします。
- 2. ドキュメントのインポート先の場所を参照します。
- 3. Website ツールバーの「インポート」ボタンをクリックします。



4. ローカルドライブを参照し、インポートするドキュメントを指定するよう求めるメッセージが表示されます。ドキュメントを選択したら、「アップロードファイル」ボタンをクリックします。





OpenOffice.org import

Import OpenOffice.org document

Import to: Partner Documents

You can import OpenOffice.org Writer documents directly into eZ publish from this page.

You are asked where to place the document and eZ publish does the rest. The document is converted into the appropriate class during the import, you get a notice about this after the import is done. Images are placed in the media library so you can re-use them in other articles.

F:\demodocument.odt

Browse...

Upload file

ドキュメントがアップロードされ、インポートされて、ネイティブ eZ Publish XML 形式に変換されます。完了すると、確認メッセージと新しい記事に対するリンクが含まれるページが表示されます。 最終的な結果は次のとおりです。

Demodocument

Smith John 22/10/2006 2:27 pm

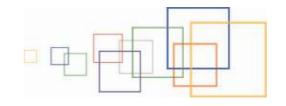
Heading 1

Heading 2



Website ツールバーの「リプレイス」ボタンの機能は、「インポート」ボタンの機能と類似しています。ただし、新し





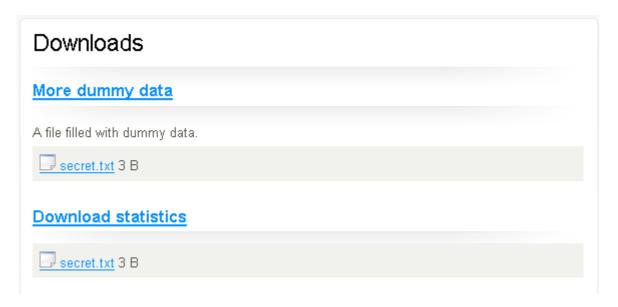
いコンテンツ・オブジェクトが作成されるのではなく、表示している現在のオブジェクトが置き換わります。

6.4.2. OpenOffice.org ドキュメントのエクスポート

この項では、サイトのコンテンツを OpenOffice.org ドキュメントにエクスポートする方法について説明します。 エクスポートされたこれらのドキュメントは、OpenOffice.org Writer などの ODF 標準をサポートする任意のア プリケーションで読み込むことができます。

エクスポートされたドキュメントはソースと厳密に同一でないことがあります。直前の例では、画像がテキストに埋め込まれているので、エクスポートされたドキュメントでも厳密に同じ場所に表示されます。しかし記事に画像を1つ添付しただけの場合、この画像は Web ページ上の導入テキストの横に表示されることもありますが(表示される場所はテンプレートによって決まるため)、テキストに埋め込まれていないので、エクスポートされたドキュメントの最後に追加されることもあります (ezodf (open document format extension) は追加する場所を認識しないため)。

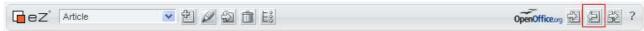
コンテンツ オブジェクトを OpenOffice.org 形式にエクスポートすると、現在のオブジェクトだけがエクスポートされ、その子はエクスポートされません。たとえば、フォルダをエクスポートすると、フォルダオブジェクトのコンテンツだけがエクスポートされ、フォルダオブジェクトの下の記事はエクスポートされません。



直前のスクリーンショットには、子「More dummy data」と「Download statistics」が含まれる「Downloads」と呼ばれるフォルダが表示されています。このコンテンツ・オブジェクトをエクスポートすると、エクスポートされたドキュメントにはテキスト「Downloads」だけが含まれます。これは、フォルダオブジェクトに含まれるテキストはこれだけだからです。子オブジェクトは無視されます。

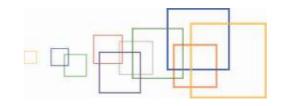
コンテンツを OpenOffice.org ドキュメントにエクスポートするには:

- 1. 編集者または管理者としてログインします。
- 2. エクスポートするコンテンツ・オブジェクトを参照します。
- 3. Website ツールバーの「エクスポート」ボタンをクリックします。



4.エクスポートされたコンテンツを開くのか、コンテンツをファイルに保存するのかを尋ねるメッセージが表示さ





れます。

6.5 サイトセッティング

サイトセッティングに関しては、『インストール ガイド 日本語版』に記述があります。こちらを参考にして下さい。